

医薬品の情報入手手段 に関する医師調査

チャート集

2008年1月調査実施

(2008年10月6日作成)

1. 調査概要

- (1) 調査目的
- (2) 調査設計・回収状況
- (3) 調査項目
- (4) 調査主体
- (5) 実施調査機関

2. 回答者属性

3. 調査結果 (単純集計)

4. 調査結果 (クロス集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

医療現場での医薬品に関する情報入手手段について現状把握することを目的とした。

(2) 調査設計・回収状況

[調査対象]	主に内科系診療科の医師
[調査期間]	2008年1月24日（木）～1月30日（水）
[調査方法]	クローズド・インターネット調査
[依頼方法]	電子メール
[依頼回数]	2回 [（1月24日（木）, 1月29日（火）]
[有効配信数]	600名
[アクセス数]	172名
[回答者数]	153名
[アクセスモニター回答率]	89.0 %

(3) 調査項目

- ・ 回答者属性（性別、年齢、診療科、勤務先の経営母体、病床数）
- ・ 医薬品に関する情報入手手段

(4) 調査主体

国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部 齋藤充生

厚生労働科学研究費補助金研究
（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）

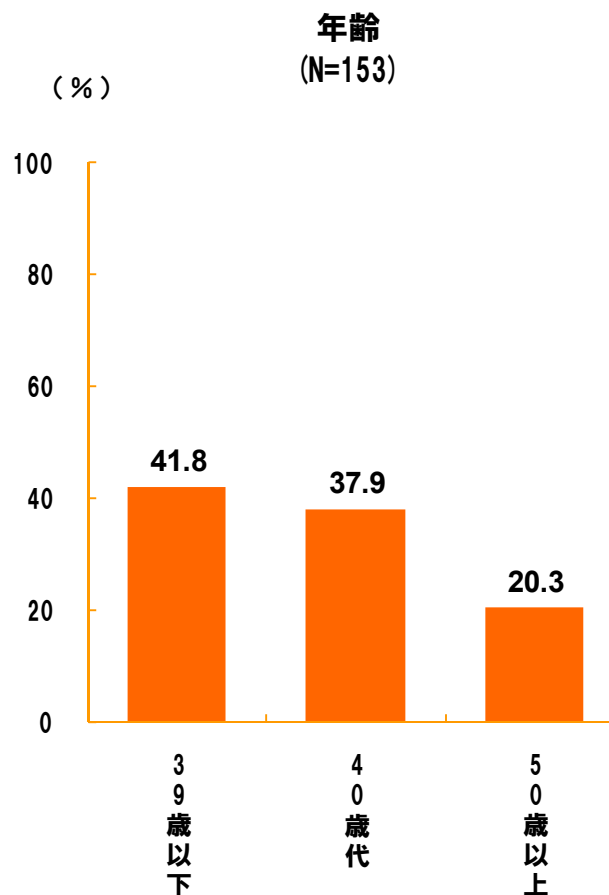
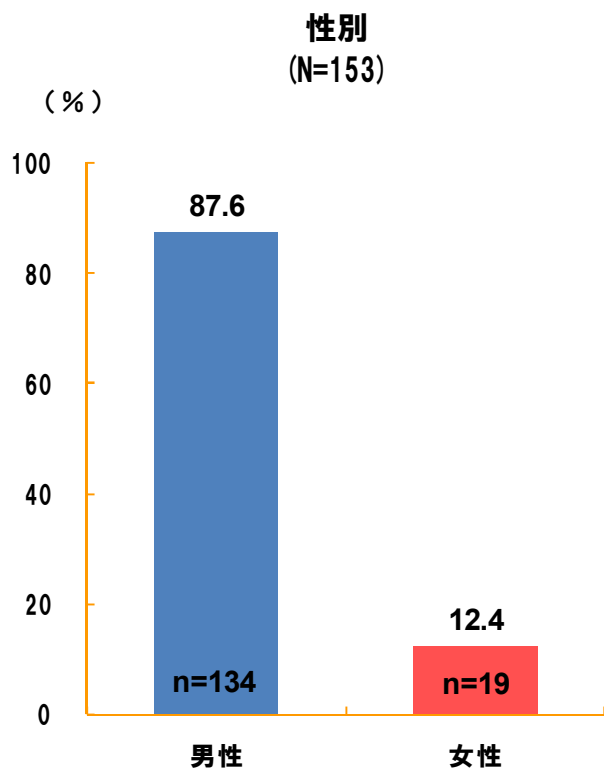
「有害事象に関与する薬物動態相互作用に関する研究」

(5) 実施調査機関

株式会社プラメド

2. 回答者属性

回答者属性 (性別・年齢)



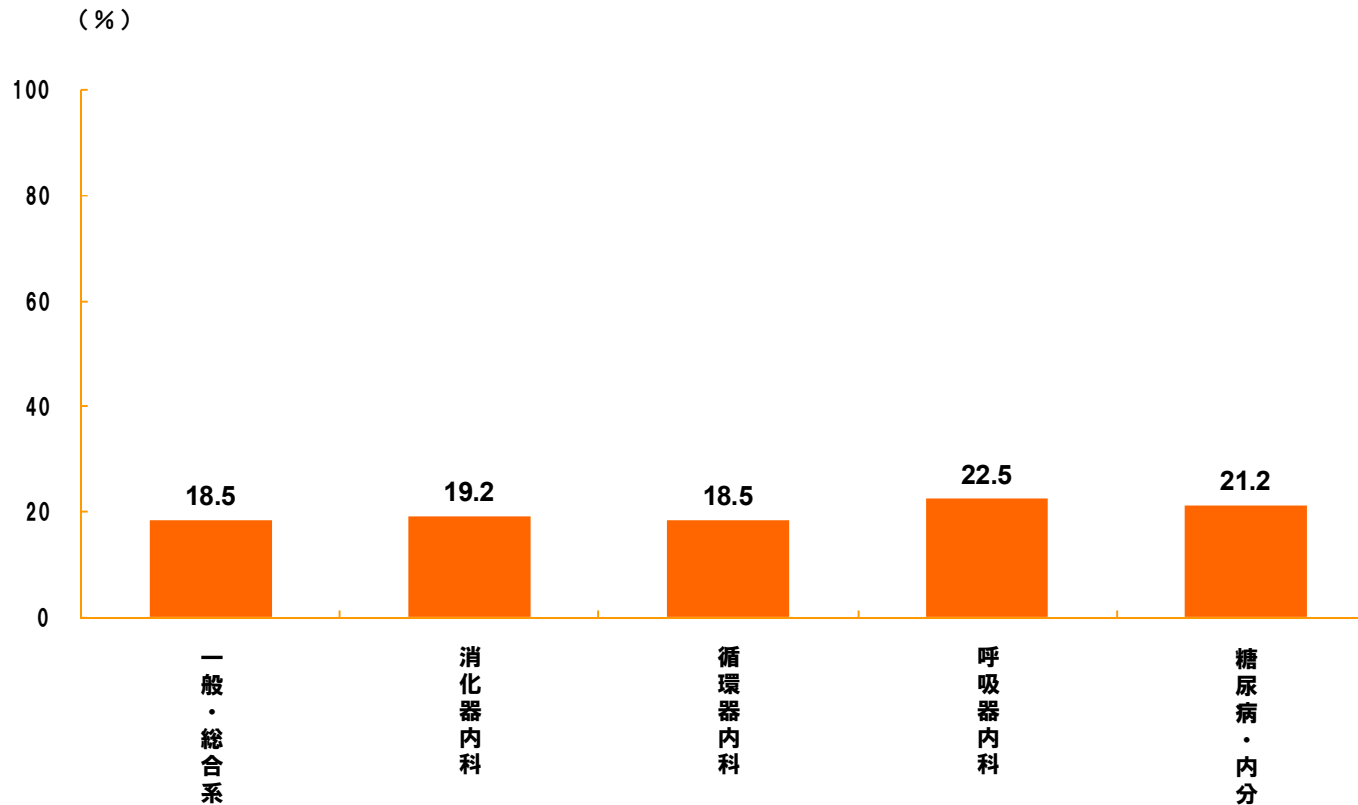
39歳以下	64
40歳代	58
50歳以上	31
Total	153

(単位は実数)

※ 年齢は20歳代及び60歳以上が少数であったため上記のカテゴリとした

回答者属性（主たる診療科）

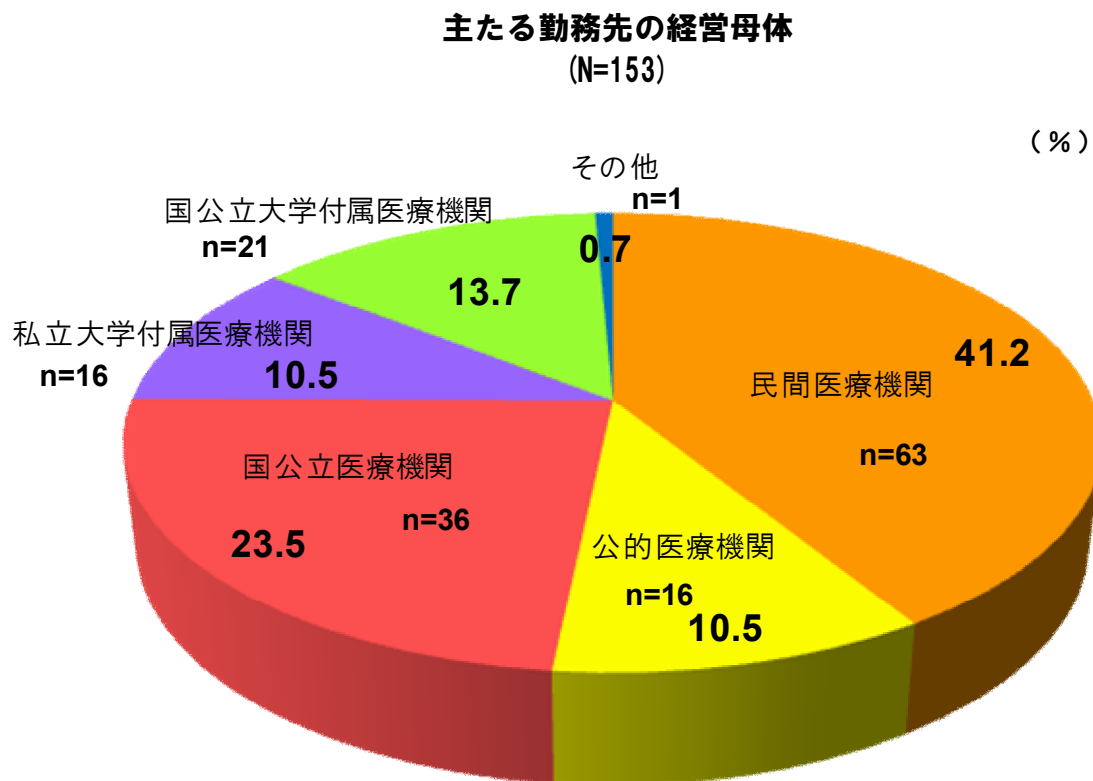
主たる診療科
(N=153)



一般・総合系	28
消化器内科	29
循環器内科	28
呼吸器内科	34
糖尿病・内分泌・代謝内科	32
Total	151

(単位は実数)

回答者属性（勤務先の経営母体）



※ 公的医療機関(日赤、済生会、社会保険、国家公務員共済、警察、など)

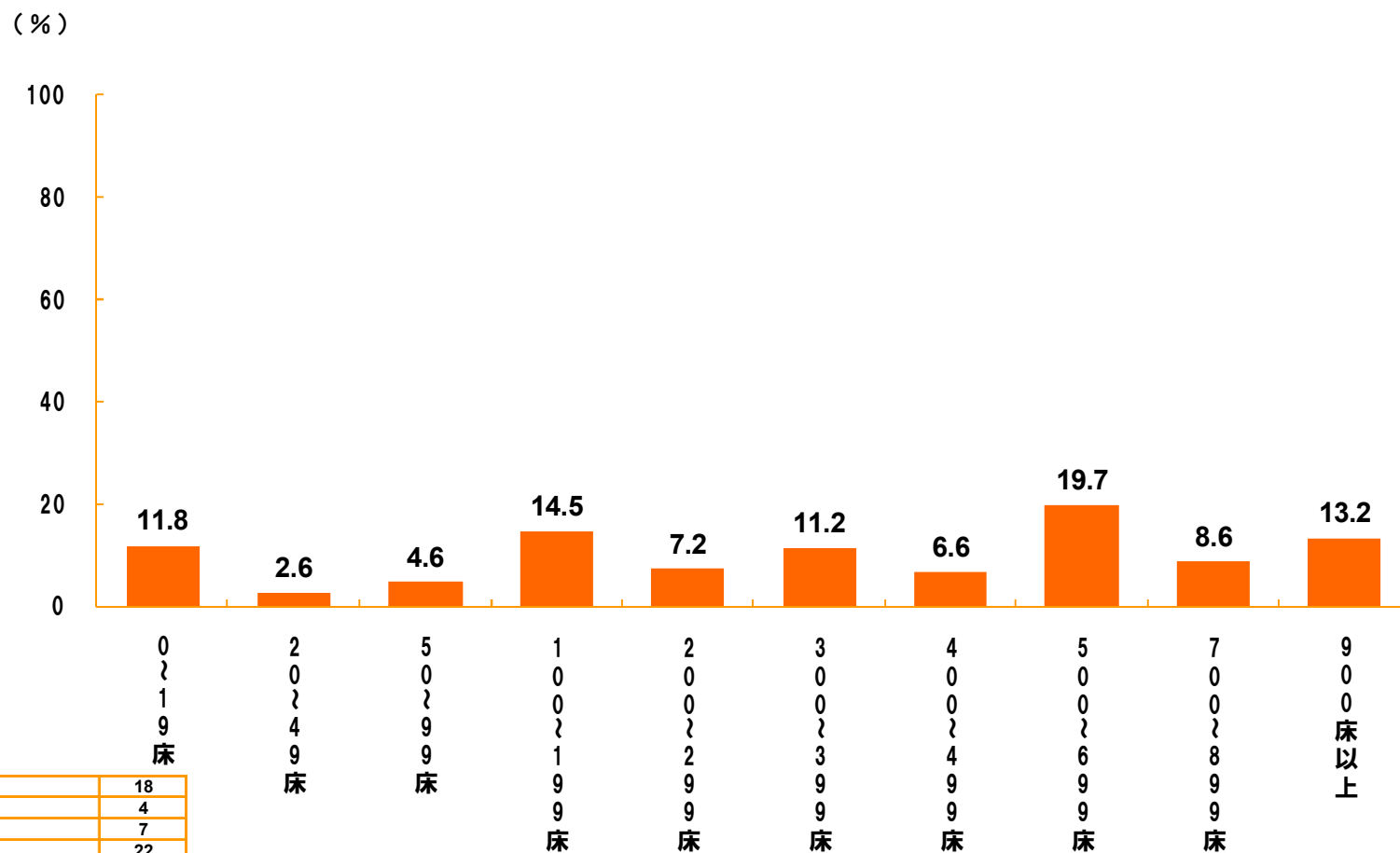
国公立医療機関(国立病院機構、地方自治体立病院)

私立大学附属医療機関(私立大学)

国公立大学附属医療機関(国立大学、自治・産業・防衛医科大学、公立大学)

回答者属性（勤務先の病床数）

勤務先の病床数
(N=153)



0~19床	18
20~49床	4
50~99床	7
100~199床	22
200~299床	11
300~399床	17
400~499床	10
500~699床	30
700~899床	13
900床以上	20
Total	152

(単位は実数)

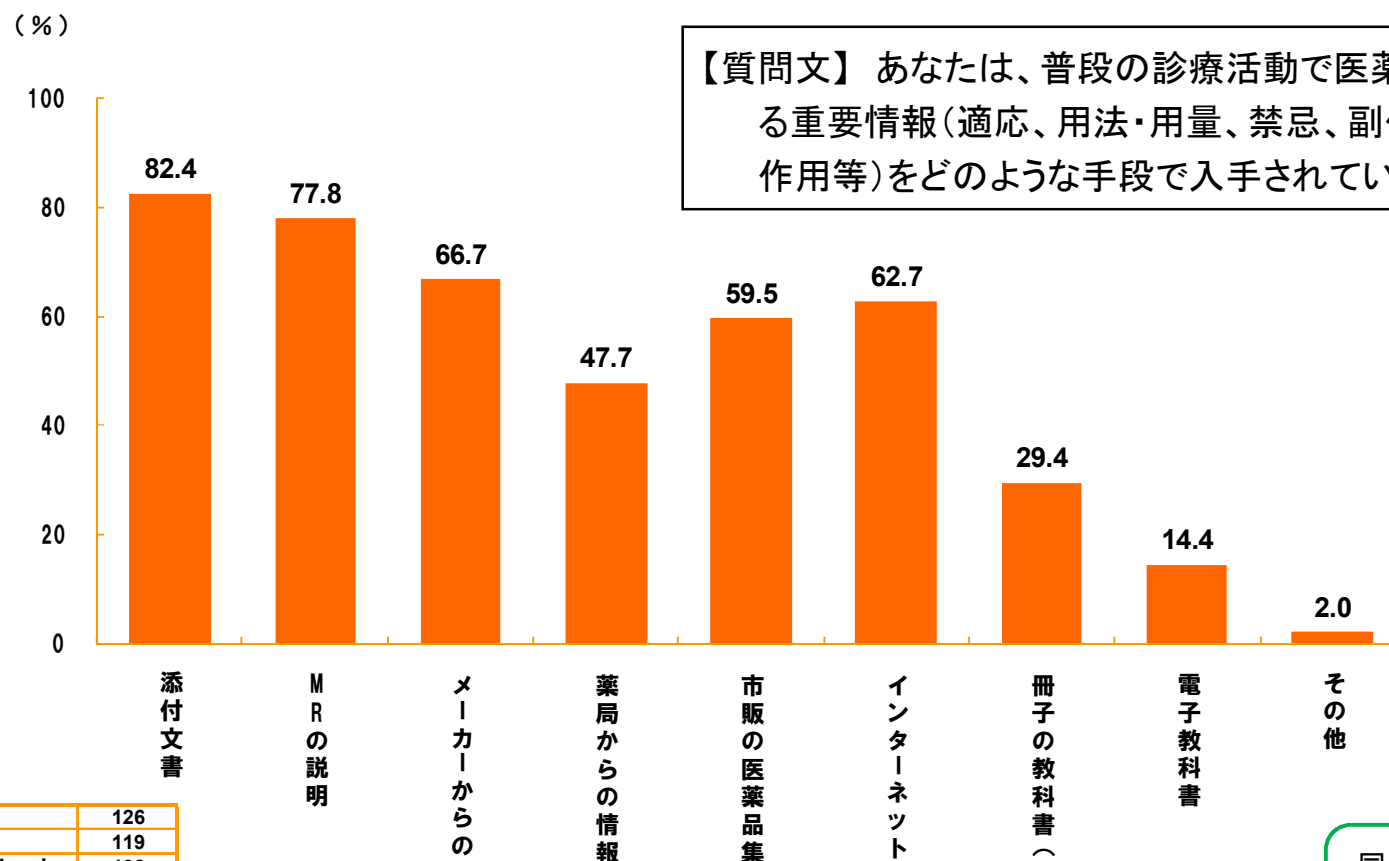
3. 調査結果（単純集計）

医薬品に関する情報入手手段

医薬品に関する情報入手手段

(N=153)

複数回答



【質問文】 あなたは、普段の診療活動で医薬品に関する重要情報(適応、用法・用量、禁忌、副作用、相互作用等)をどのような手段で入手されていますか。

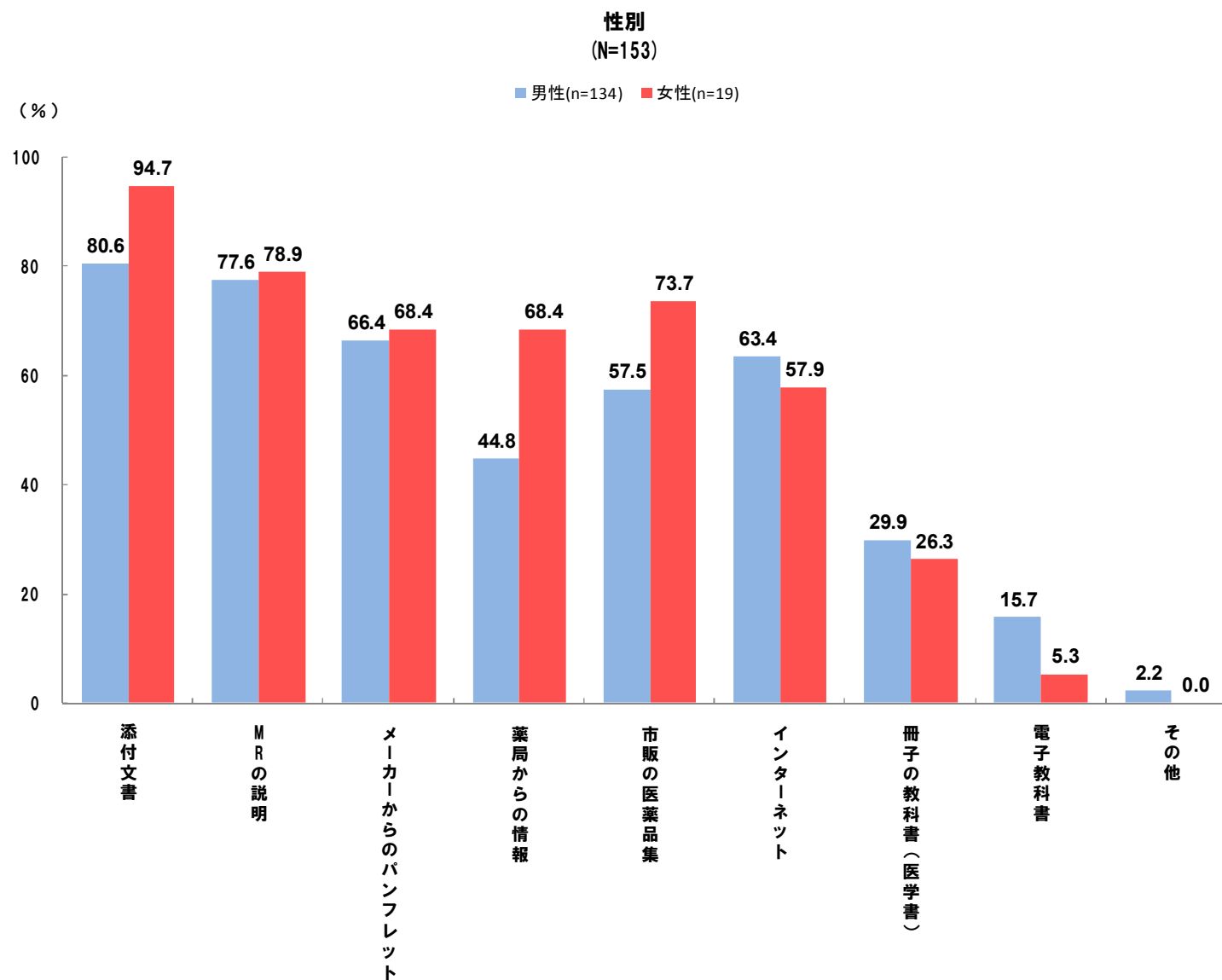
添付文書	126
MRの説明	119
メーカーからのパンフレット	102
インターネット	96
市販の医薬品集	91
薬局からの情報	73
冊子の教科書(医学書)	45
電子教科書	22
その他	3
Total	677

(単位は実数)

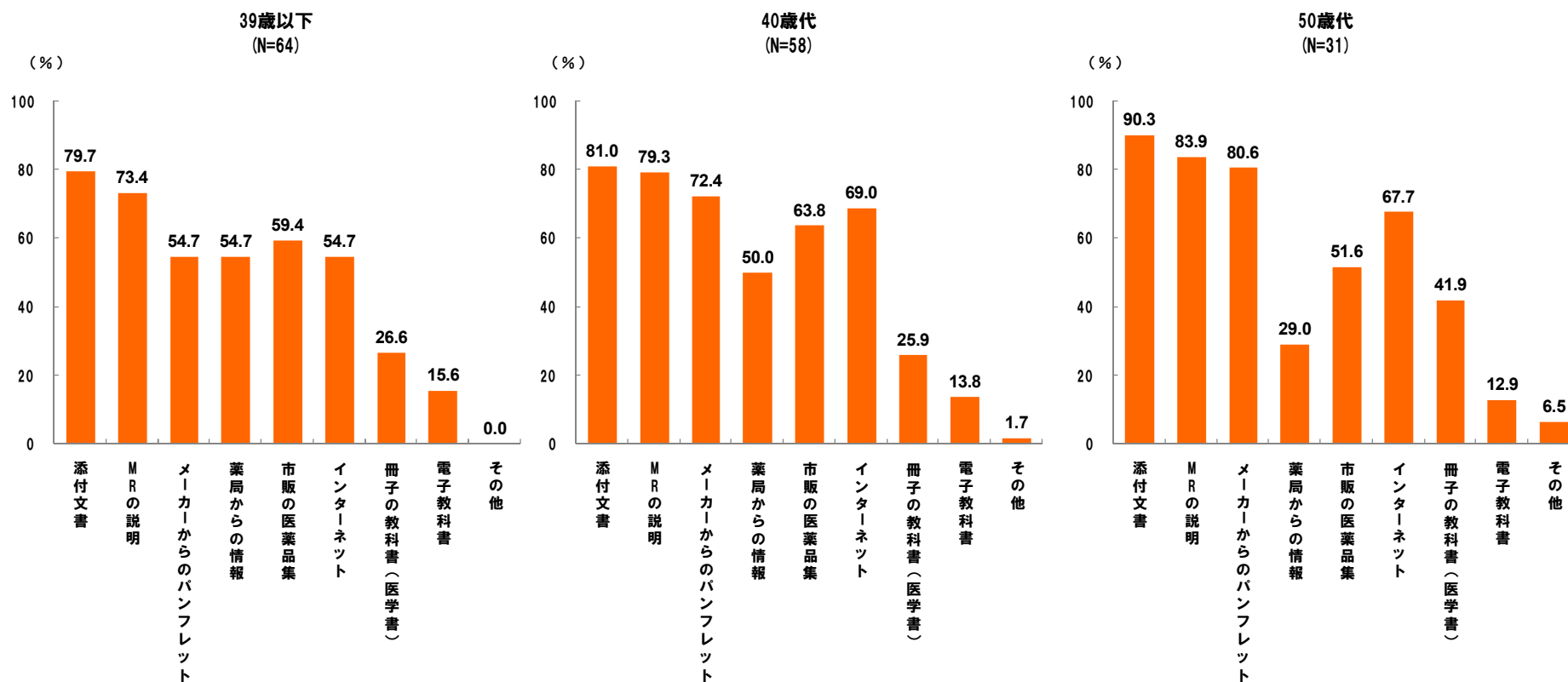
同僚などの医師
説明会
院内医薬品集

4. 調査結果（クロス集計）

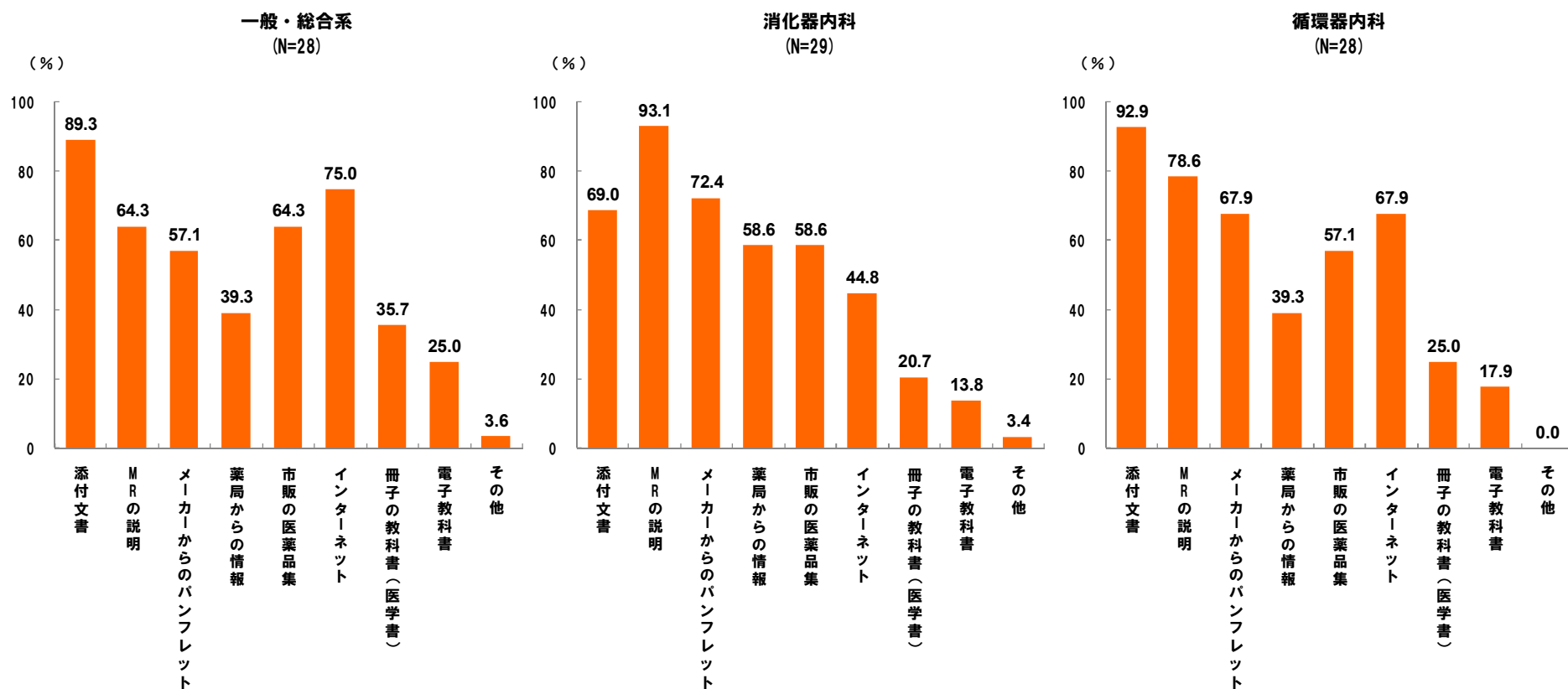
情報入手手段（性別）



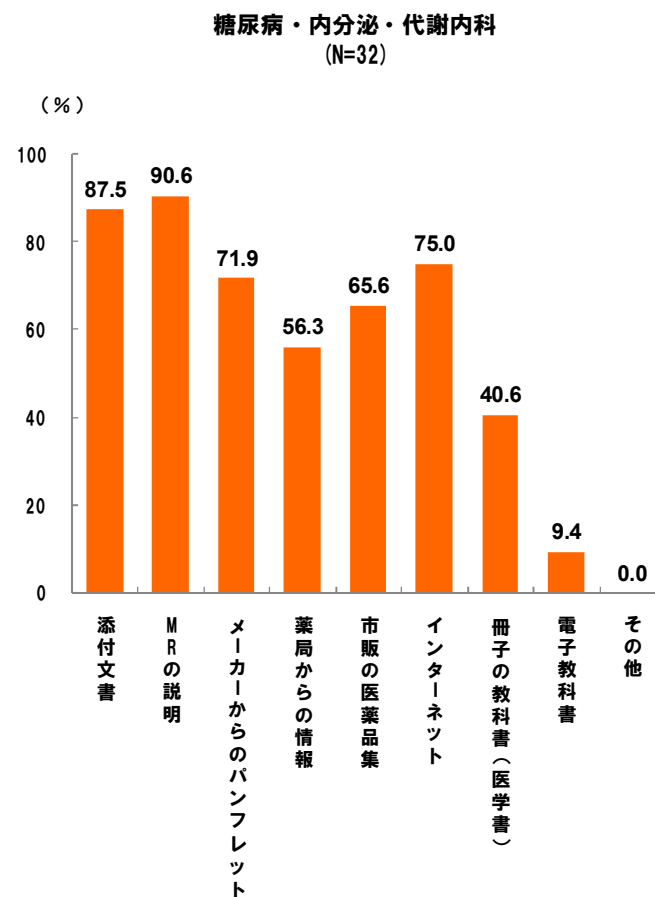
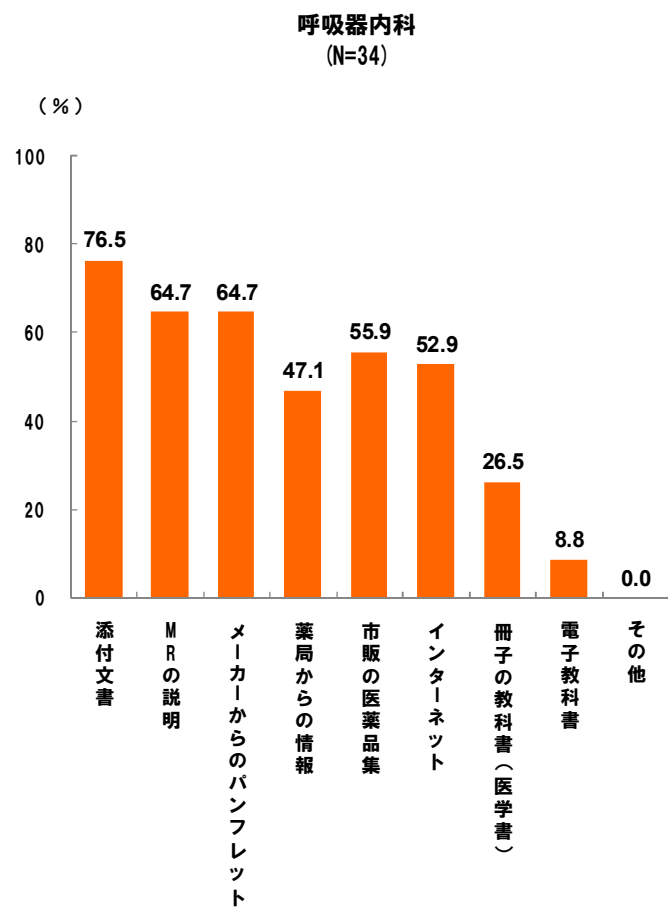
情報入手手段（年齢別）



情報入手手段（診療科別－1）



情報入手手段（診療科別－2）



情報入手手段（勤務先別）

